

新潟県の地震概況 令和4年(2022年)9月

令和4年10月13日

新潟地方気象台

【9月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回(最大震度は1)でした。新潟県とその周辺(図1)で発生した地震で、県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした。(「期間内に発生した主な地震」を参照)。

【9月に新潟県周辺で発生した地震】

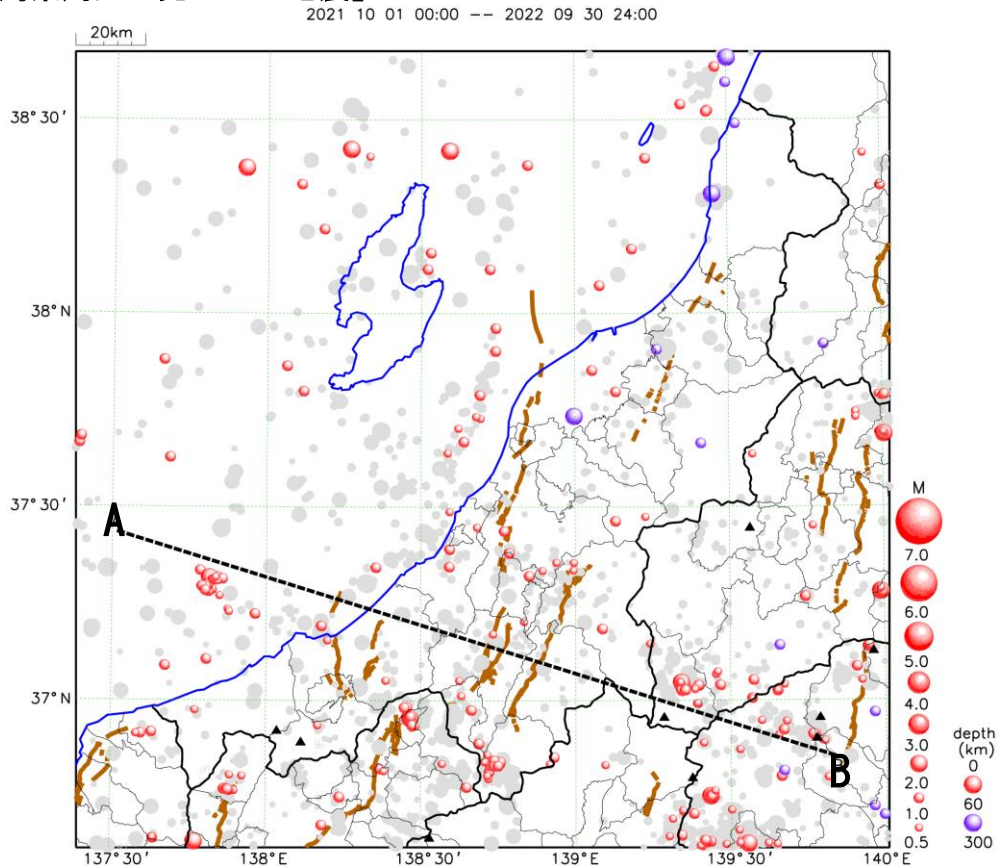


図1 震央分布図(深さ0~300km、M0.5以上)

※過去1年間の地震を表示。令和4年9月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示した。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、⊍は深部低周波地震を示す。

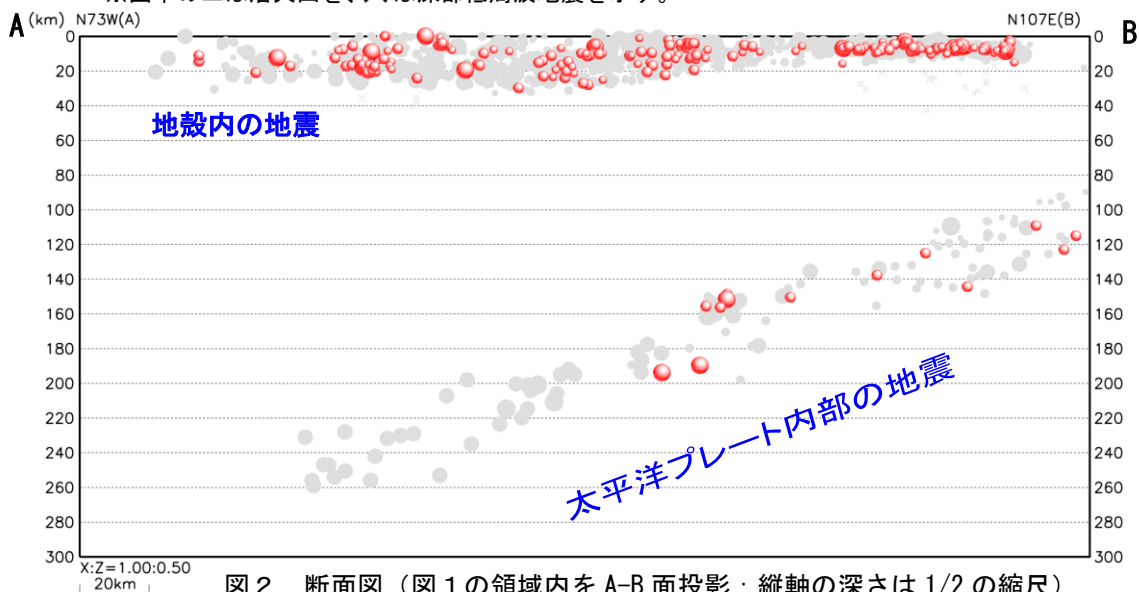


図2 断面図(図1の領域内をA-B面投影:縦軸の深さは1/2の縮尺)

【期間内に発生した主な地震】

- ① 22日07時24分 千葉県東方沖の地震 (M5.3、深さ13km) により、茨城県、千葉県及び埼玉県で震度2を観測したほか、東北地方南部、関東地方及び新潟県、静岡県で震度1を観測しました。新潟県内では南魚沼市で震度1を観測しました。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近では2011年東北地方太平洋沖地震以降、数年程度地震活動が活発となっていました。

- ② 23日09時53分 茨城県南部の地震 (M4.7、深さ83km) により、栃木県、群馬県で震度3を観測したほか、東北地方南部、関東甲信越地方及び静岡県で震度2～1を観測しました。新潟県内では南魚沼市で震度1を観測しました。この地震は太平洋プレート内部で発生しました。

【新潟県内で震度1以上を観測した地震】 期間 2022年9月1日～2022年9月30日

地震の発生日時 (年/月/日/時:分)	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 *は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
① 2022年09月22日07時24分	千葉県東方沖	35° 16.7' N	141° 13.0' E	13km	M5.3	2
震度 1 : 南魚沼市六日町						
② 2022年09月23日09時53分	茨城県南部	36° 04.5' N	140° 12.1' E	83km	M4.7	3
震度 1 : 南魚沼市六日町						

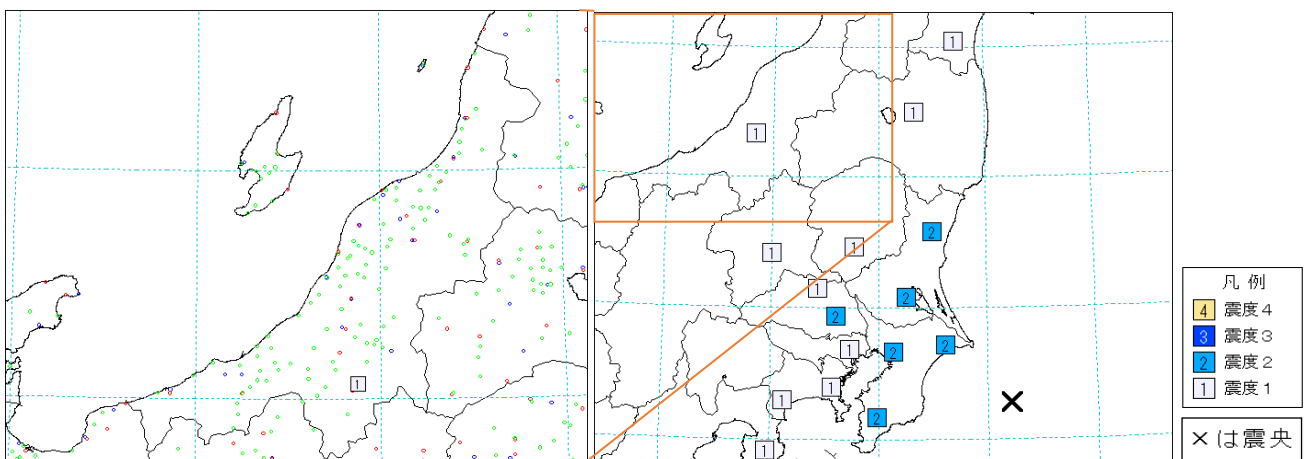
【震度分布図】

図中○は震度観測点を示す

- ① 22日07時24分 千葉県東方沖の地震 (M5.3、深さ13km)

観測点別震度分布図

地域別震度分布図

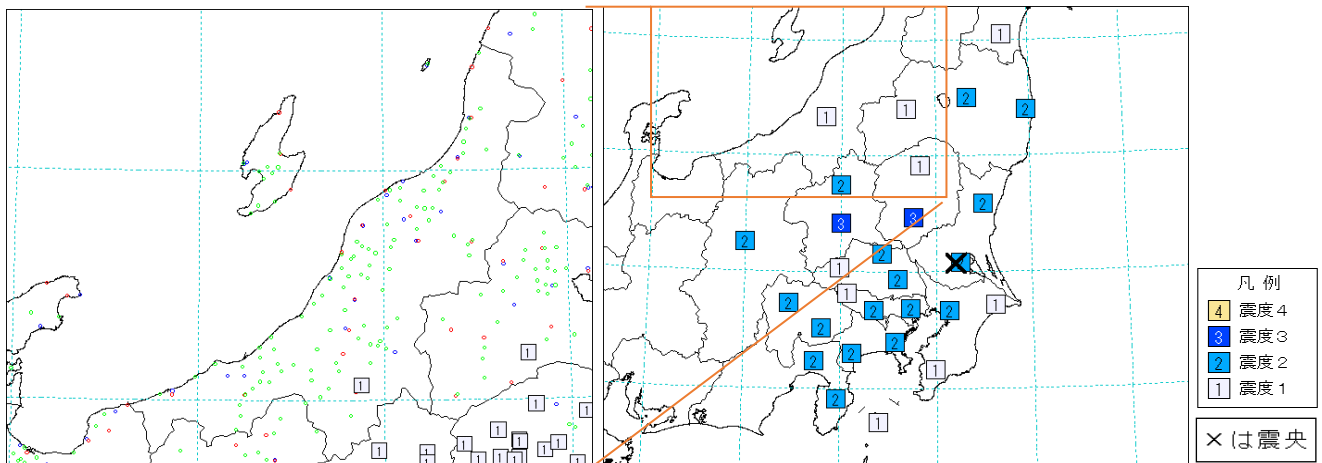


図中○は震度観測点を示す

② 23日09時53分 茨城県南部の地震 (M4.7、深さ83km)

観測点別震度分布図

地域別震度分布図



【新潟県内で最大震度1以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2021年			2022年									合計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
震度1	6	6	8	2	2	7	4	5	3	4	3	2	52
震度2	0	1	3	1	2	3	3	0	0	0	2	0	15
震度3	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	5
震度4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度5弱	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	7	7	11	3	4	12	7	6	5	4	5	2	73

【火山活動状況（新潟焼山）】

新潟県の活火山「新潟焼山」の火山活動状況や警戒事項については、以下の資料をご覧ください。

「新潟焼山の火山活動状況」（気象庁HP）

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/307.html

注) 利用にあたって

- ・資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- ・新潟県内で震度1以上を観測した地震の一覧表の震度は、県内のみを記述しています。また、最大震度は、県内または県外での値を記述しています。
- ・気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注1)、文部科学省と協力して処理を行っています。また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

- ・この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html
- ・資料についての問い合わせ先：新潟地方気象台電話：025-281-5872

【地震・津波一口メモ】

11月5日は津波防災の日です 今年も11月2日に緊急地震速報の訓練を行います ～自分の命を守るためにご参加ください～

毎年11月5日は「津波防災の日」です。平成23年の東日本大震災を受けて、津波から国民の生命を守ることを目的に「津波対策の推進に関する法律」により制定されました。11月5日は、江戸時代（1854年）に中部地方から九州地方の太平洋沿岸に大きな津波被害をもたらした、『稲むらの火』のモデルにもなった安政南海地震の発生した日（旧暦）であり、2015年12月22日に国際連合総会において「世界津波の日」とすることが決議された日でもあります。

気象庁では、毎年この日にあわせて、緊急地震速報の全国的な訓練を実施しており、今年も11月2日に実施します。緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間がごくわずかです。その短い間に慌てずに身を守るためには、日頃からの訓練が重要です。訓練で身を守る行動を体験してみましょう。

11月2日（水）は
緊急地震速報の訓練に
参加しましょう！

緊急地震速報を見聞きしたときに、慌てずに身を守る行動ができるようにしましょう

令和4年11月2日（水）10時00分頃に、訓練に参加する地方自治体の防災行政無線や、一部商業施設などで緊急地震速報の放送があります。

※訓練の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール（エリアメール）には流れません。（一部のコミュニティFM等を除く）

普段から、家具の固定など地震への備えをすすめ、津波避難場所なども確認しておきましょう！



○ スマートフォンを用いた訓練

スマートフォンのアプリを用いて、緊急地震速報の専用ブザー音による報知をきっかけにした訓練を行うことができます。この「地震防災訓練アプリ」は、株式会社NTTドコモが提供しており、NTTドコモ以外のスマートフォンでも利用可能です（※一部利用できない機種があります）。



アプリを使った訓練の詳細はこちら

○ 訓練の実施日時など

令和4年11月2日（水）10時00分頃
（気象庁からの訓練用緊急地震速報の配信時刻）

<https://www.data.jma.go.jp/eeew/data/nc/kunren/2022/02/kunren.html>

- ※ 気象・地震活動の状況等によっては、訓練を中止する場合があります。
- ※ 中止の場合は、速やかに気象庁ホームページ等でお知らせします。



訓練詳細や最新情報は
こちら

○ シェイクアウト訓練

いざという時にすばやく反応するためには、くり返し練習することが重要です。

「効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議」(<https://www.shakeout.jp/>)は、今回の訓練に合わせた全国的なシェイクアウト訓練の実施を呼びかけています。



まず低く



頭を守り



動かない

